

千葉大学医学部附属病院で肺腫瘍の手術を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026 年 6 月 12 日

呼吸器外科

呼吸器外科では、「肺癌とウイルス感染の関連に関する分子病理学的解析」という研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2013 年 1 月から 2026 年 5 月までに千葉大学医学部附属病院呼吸器外科で肺腫瘍に対して手術を受けた方のうち、腫瘍組織及び正常肺組織の凍結検体、既に抽出済みの DNA、又は診療又は病理診断で作製された標本が保存されており、研究課題「生体試料による肺癌遺伝子変異と治療効果の関連性の検討」への同意に基づき診療情報を利用可能な方。

1. 研究課題名

「肺癌とウイルス感染の関連に関する分子病理学的解析」

2. 研究期間

承認日～2031 年 3 月 31 日

この研究は、千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

ヒトパピローマウイルス（HPV）をはじめとする一部のウイルスは、子宮頸がんや中咽頭がんなど、いくつかのがんの発生に関係することが知られています。一方で、肺がんやその他の肺腫瘍にウイルス感染がどの程度関係しているかについては、これまでの研究結果が一致しておらず、詳しいことはまだ十分に分かっていません。

本研究では、手術時に採取され保存されている肺腫瘍組織、対応する正常肺組織、既

に抽出されている DNA、必要に応じて診療又は病理診断で作製された標本を用いて、ウイルスの遺伝子が検出されるかを調べます。また、ウイルス感染の有無と、腫瘍の種類、病理所見、遺伝子異常、PD-L1 発現、再発や治療経過、薬物療法の効果などとの関連を検討します。なお本研究では解析業務を外部機関へ委託する予定はありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・手術時に採取され保存されている肺腫瘍組織及び正常肺組織の凍結検体
- ・既に抽出済みの DNA
- ・必要に応じて、診療又は病理診断で作製された標本
- ・診療録に記載されている年齢、性別、既往歴、薬歴、家族歴、飲酒・喫煙歴、腫瘍径、組織型、病理病期、脈管侵襲、胸膜浸潤、リンパ節転移、手術内容、術後経過、再発の有無、治療経過、薬物療法の内容と効果、副作用、ドライバー遺伝子異常、PD-L1 発現、その他通常診療で得られた検査結果

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：呼吸器外科 教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名、生年月日、カルテ番号など個人を直接特定する情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科及び研究責任者が管理する研究室で厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じることはありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

呼吸器外科 教授 鈴木 秀海

呼吸器外科 医員 祖父江 晃向

043（222）7171 内線：7464